

〈ヤモリのミイラ〉

畑の小屋に入ったら足元にヤモリが……。いつもならすぐに逃げるのだが動こうとしない。近寄ってみるとどうやら死んでいるらしい。一昨日小屋に入った時にはいなかったもので、昨日か今日の出来事だ。このヤモリ、小屋のロッカーにいて、時々顔を合わせている住人の一人。“家守”なので丁重に扱っていた。外傷はないので死因はナゾ。ただ、湿気を好む、適温は18度～26度、生きた虫を食べるなどの生態を考えると、死因はどれも当てはまる。乾燥続き、小屋に水気はない、氷点下の寒い日が続く、虫もない、、、。野生の生き物にとって冬越しはそれこそ命がけなのだろう。



改めて、外に出してよく見てみるとからからに干からび、お腹はぺちゃんこ。まるで干物状態だ。ヤモリは11月～3月くらいまで冬眠するということが、ロッカーから出てきているのはどういうこと？と謎が深まる。日中、日が出ていると小屋の中は結構暖かくなる。“春が来たかな？”とうっかり勘違いしてウロウロ歩き出すと、夜は冷え込む。そんな寒暖差についていけずついに力尽きたか？。死因は特定できずとも、このお腹の薄さを見ると何やら哀れを誘う。万歳した5本の指は万事休すの白旗だったのだろうか？